

HTMLについて

この章からHTML/CSSに触れていきます。

HTML/CSSはプログラミング言語と違い、タグで囲んで構造を表現します。

用意されているタグは決まっています。それを駆使して作成したHTMLをブラウザが読み込んで表示します。

HTML/CSSをマークアップ言語と言います。

HTMLを書く用意

VsCodeを開き、「index.html」と言うファイルを作成してください。

作成できましたら「index.html」ファイルを開きファイル内をクリックしてマウスカーソルをあててください。

それができましたら、**shift+1**で「!」が入力できるかと思います。

そうすると、予測変換が2つほど出てくると思います。

その1番上の「!」を選択しましょう。

選択すると下記のようなになります。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <title>Document</title>
</head>
<body>

</body>
</html>
```

すべてを説明するとかなりの量になるので大事なところだけ説明をします。

```
<html lang="ja">
```

このファイルの文書を日本語で書かれた文章を示しています。このファイルをブラウザが読み取った時に日本語の文書として処理されます。日本語を指定したからと言って英語が書けなくなる訳ではないので安心してください。

```
<meta charset="UTF-8">
```

文字コードの指定をしています。UTF-8は世界的にも、もっともポピュラーな文字コードで、Unicode用の符号化方式の1つです

文字化けという言葉聞いたことはありますか？文字が正しい文字で表示されない時に言うのですが、文字化けも作成した側とそれを開いた側の文字コードが一致しないの為文字化けが起きてしまいます。

ポピュラーな文字コードを使用することでデバイス、国を問わずWebサイト等が閲覧できます。

```
<title>Document</title>
```

ブラウザでWebサイトを開いていると、画面上にアイコンと、文字が書いてあると思います。

このTitleタグがその文字の役割をしています。

今の状態でHTMLファイルをブラウザで開いた時は、「Document」と表示されます。

```
<body>  
</body>
```

このタグとタグの間にHTMLを書いていきます。

HTMLで用意されているタグはすべて、**<○○>**を**開始タグ**、**</○○>**は**閉じタグ**と呼びます。

今自動的に生成されたもののほとんどは開始タグと閉じタグで構成されていますので観察してみてください。